

2026年3月期第1四半期 決算説明会

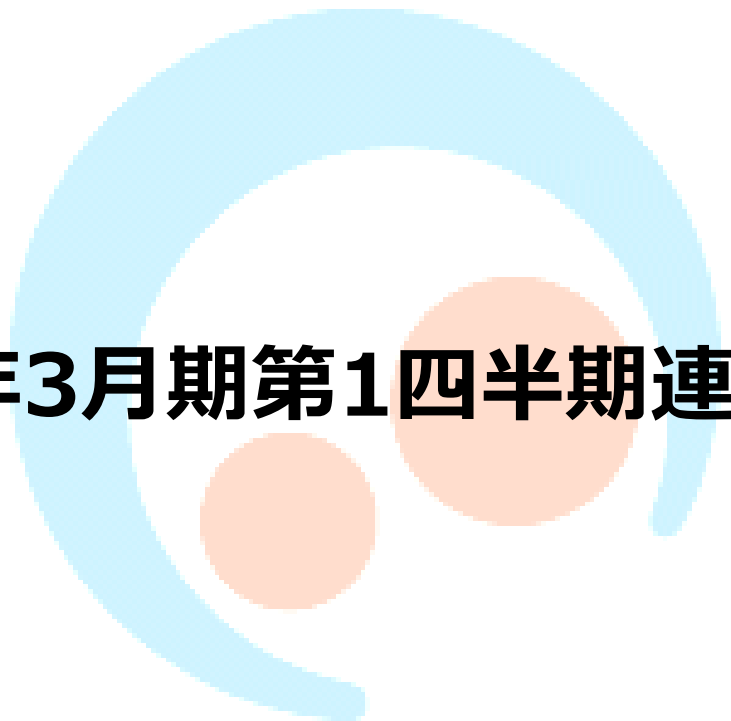


～人々の健康と豊かな暮らしのために～
<https://transgenic-group.co.jp>

2025年8月12日
株式会社トランスジェニックグループ

注：当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

I.	2026年3月期第1四半期連結決算概要	・ ・ ・	2
II.	創薬支援事業の状況	・ ・ ・	4
III.	投資・コンサルティング事業の状況	・ ・ ・	8
IV.	2026年3月期連結業績予想	・ ・ ・	11
V.	その他	・ ・ ・	13



I . 2026年3月期第1四半期連結決算概要

●創薬支援事業

比較的多額であった前期からの繰越受注試験を予定通り完了させ、事業運営の合理化によるコスト削減を実施。前年同期比で増収となり、前年同期比で損失も大幅に縮小した。

●投資・コンサルティング事業

取引拡大や価格交渉に注力し、前年同期比で増収増益となった。

売上高

3,197百万円

前年同期比+315百万円（+10.9 %）

創薬支援事業 564百万円（+67.0 %）

投資・コンサルティング事業 2,634百万円（+ 3.5 %）

営業利益

45百万円

前年同期比+148百万円（－ %）

創薬支援事業 △23百万円（+85百万円）

投資・コンサルティング事業 117百万円（+80.5%）

本社・連結調整 △48百万円（+10百万円）

経常利益

61百万円

前年同期比+179百万円（－ %）

親会社株主に帰属する 四半期純利益

26百万円

前年同期比+126百万円（－ %）

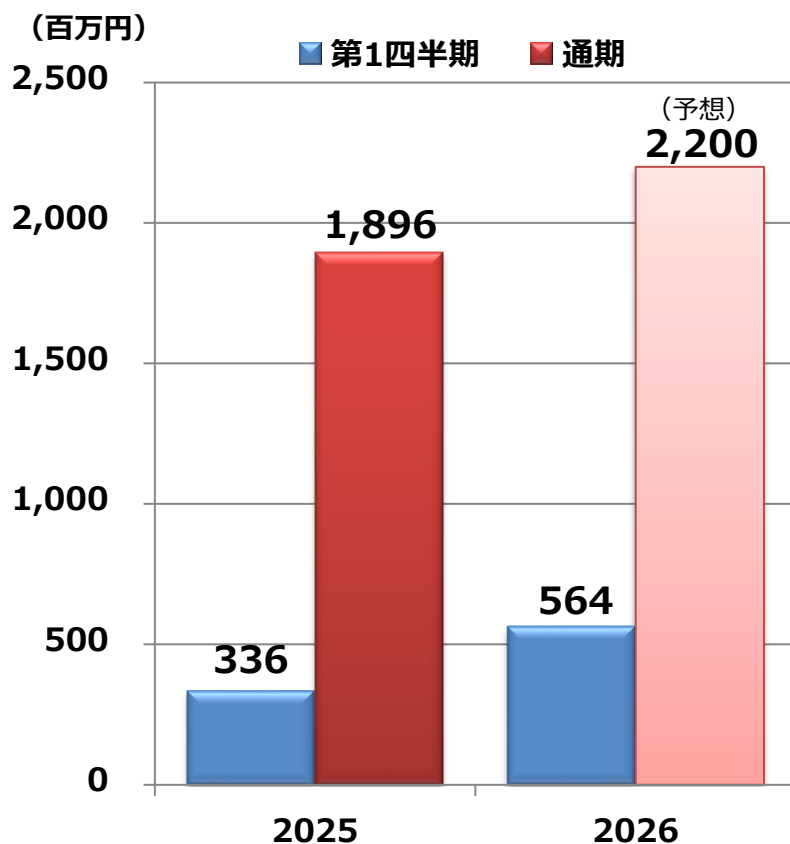


Ⅱ．創薬支援事業の状況

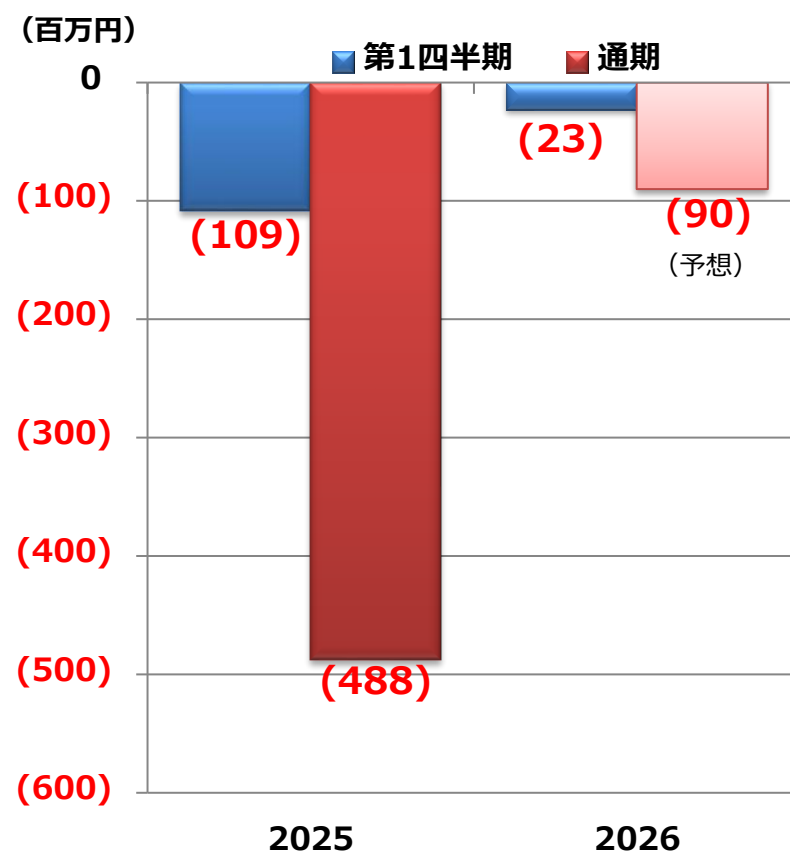
創薬支援事業：業績概要

- ・納期管理を強化して比較的多額であった前期からの繰越受注試験を予定通り完了し前年同期比で大幅な増収。事業運営の合理化により費用も削減し、前年同期比で損失は大幅に縮小。
- ・通期計画へ向けて第1四半期は概ね計画通り進捗。

売上高



営業利益



当社連結子会社(株)トランスジェニックと(株)エーセルとの業務提携に関するお知らせ ～「食品臨床試験×ヒト細胞評価」連携による新たな機能性評価体制の構築～

◆業務提携の意義

- ・トランスジェニック社の食品臨床試験事業とヒト細胞等*in vitro*試験サービスに特化したエーセル社が連携することで、ヒト細胞による*in vitro*試験から臨床試験までの一貫サービス提供が可能に。
- ・需要の高いアンチエイジング（老化細胞）、筋肉増加（筋繊維分化）、免疫活性、神経機能（突起伸展）などを細胞レベルで画像化・数値化し、食品メーカー等にとっては革新的なエビデンスの取得と、臨床試験設計の精度向上が期待できる。



食品臨床事業

食品、飲料メーカー等の機能性表示またはトクホ（特定保健用食品）開発申請におけるヘルスクレームや健康食品の販促資料などに対応した、各種食品臨床試験（ヒト臨床試験）を実施

<食品臨床試験実施例>

- ・体脂肪低減作用
- ・食後血糖上昇抑制作用
- ・整腸・免疫作用
- ・運動能力に対する作用
- ・安全性（過剰・長期摂取）
- ・血中動態
- ・疲労改善作用
- ・血圧低下作用
- ・コレステロール低下作用
- ・眼精疲労改善作用
- ・睡眠改善作用



ヒト細胞等試験

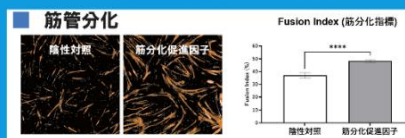
ヒト細胞、動物細胞を用いた*in vitro*試験の受託サービス
研究目的に応じた細胞種を使い分けることで多くの基礎的知見を得ることが可能

<ヒト細胞を用いた受託試験例>

- ・アルツハイマー（神経細胞）
- ・脱毛（毛乳頭細胞）
- ・美白・美容（線維芽細胞等）
- ・心機能、筋疲労（心筋細胞等）
- ・創傷治癒（表皮細胞）
- ・肝機能（肝細胞）
- ・肥満（脂肪細胞）
- ・血管機能（内皮細胞）
- ・骨代謝（骨芽細胞、破骨細胞）
- ・筋肉（筋管細胞）

<筋肉増強試験例>

筋管細胞の分化を示す蛍光画像（左）を数値化（右）



当社連結子会社(株)トランスジェニックと日本クレア(株)及び(公財)実中研とのrasH2マウスを用いた新たな発がん性評価系構築に関する共同研究契約締結

【本共同研究の目的】

「rasH2マウスを用いた経皮投与による短期全身発がん性試験モデルの確立」

化学物質や医薬品などに対する全身的ながん原性の評価手法の高度化・迅速化を目指し、国際的にも注目されているrasH2マウスを活用した評価モデルの中での新たな投与経路を対象としております。特に、皮膚接触が想定される製品・成分に対して、より現実的かつ科学的な評価手法の構築を目指します。

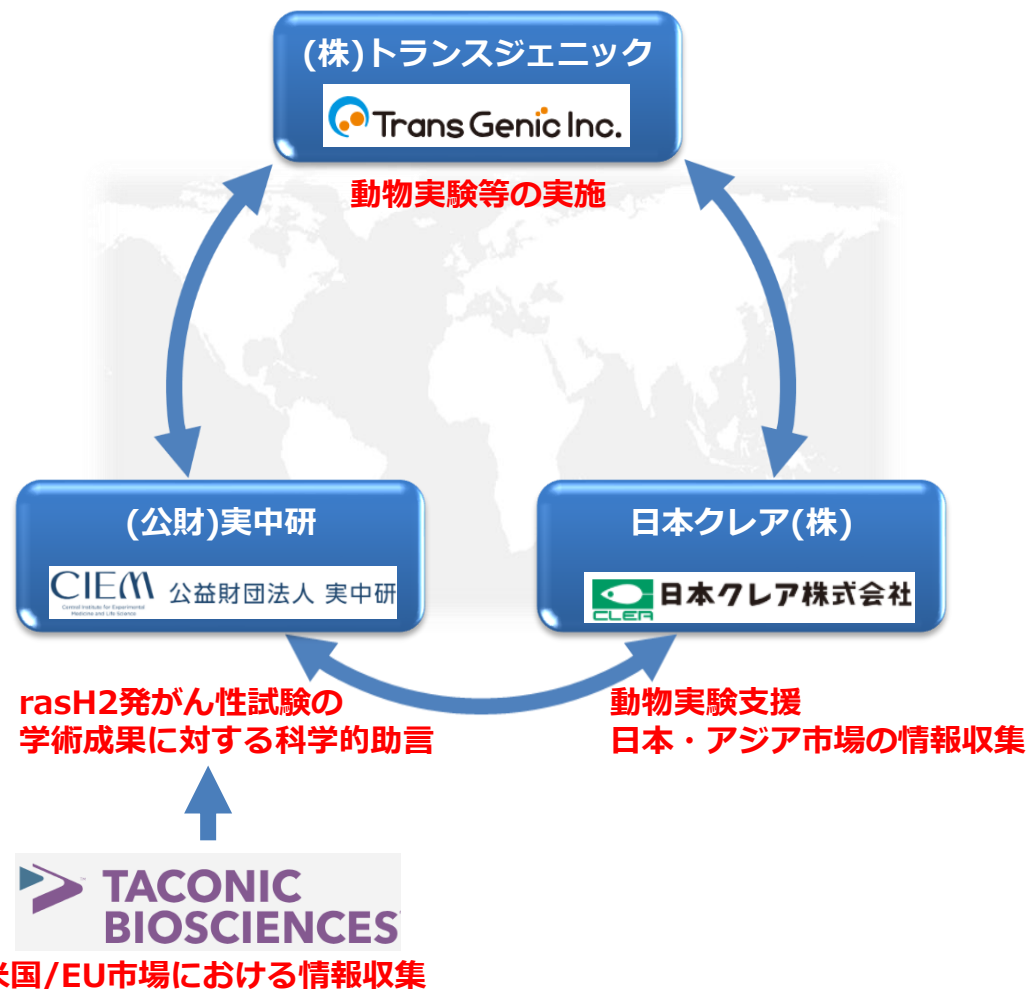
【本共同研究の意義】

- ・科学的根拠に基づいた新たな安全性評価法の構築
- ・国際規制に対応した信頼性の高いデータの創出
- ・動物使用数削減への貢献（3Rsの推進）
- ・医薬品・化学品開発における迅速かつ的確な意思決定の支援

【今後】

- ・国内外のレギュラトリー要求に応える形での実用化を図る。
- ・試験条件の最適化や、評価指標の明確化を通じて、医薬品・化学品分野における共同開発・受託試験の拡充も展開予定。

【本共同研究の枠組み】

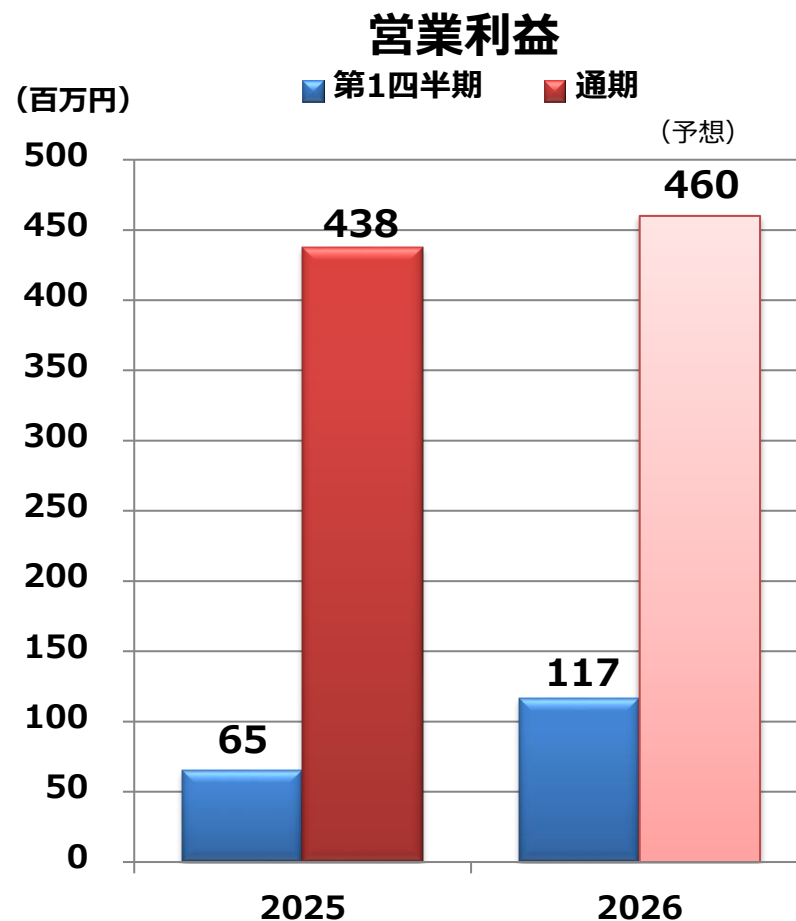
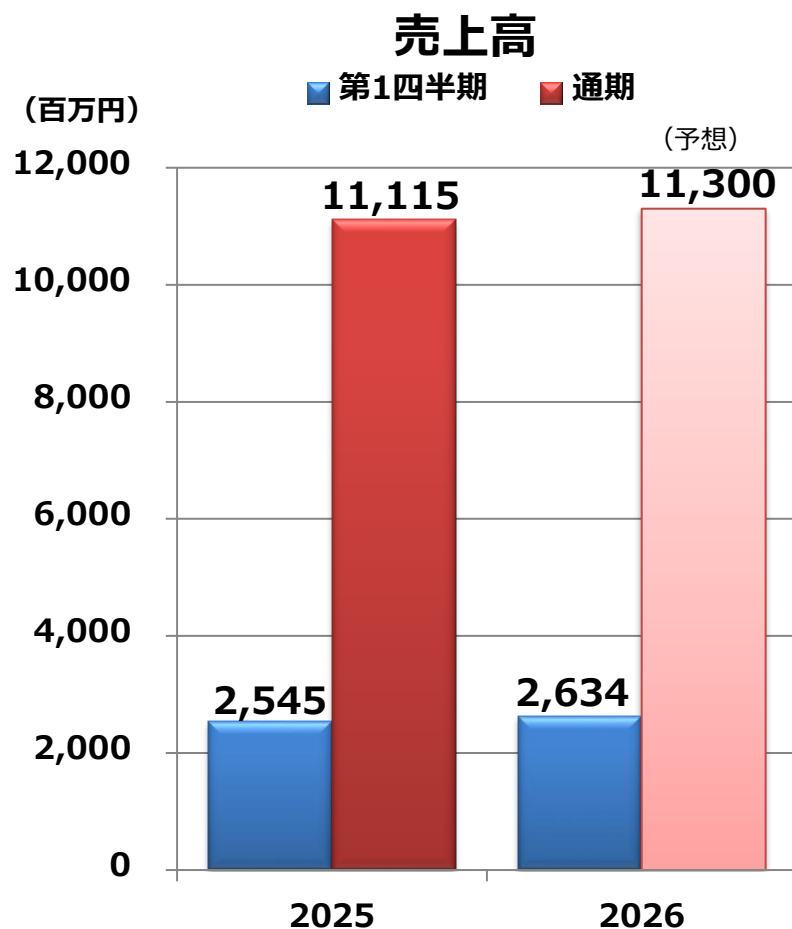


A large, light blue, stylized circular graphic with two orange circles inside, positioned behind the main title.

Ⅲ. 投資・コンサルティング事業の状況

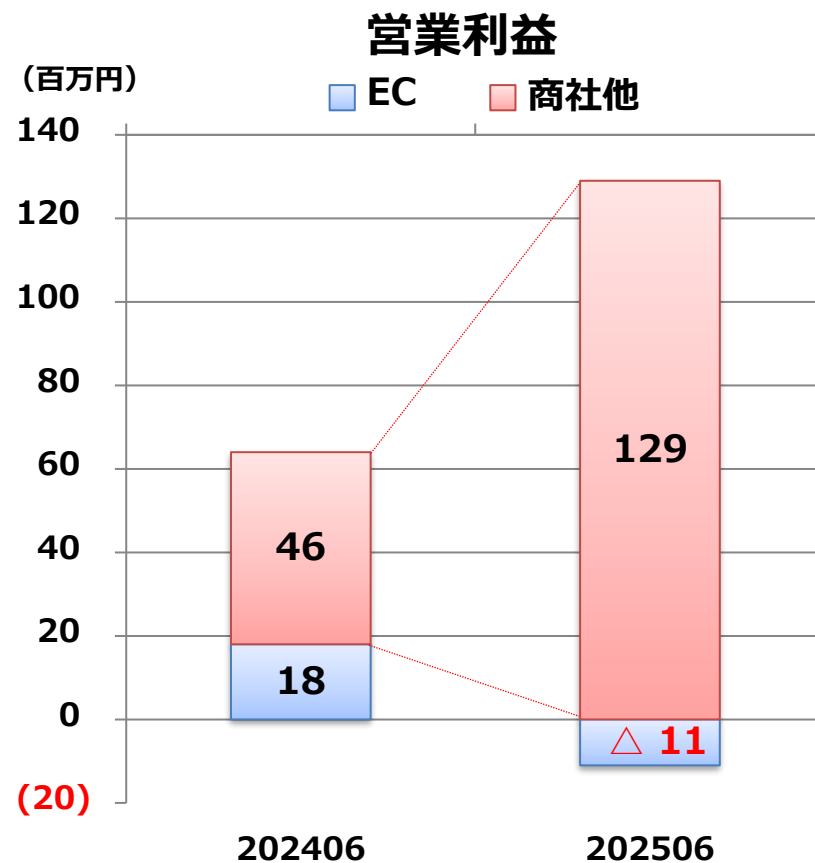
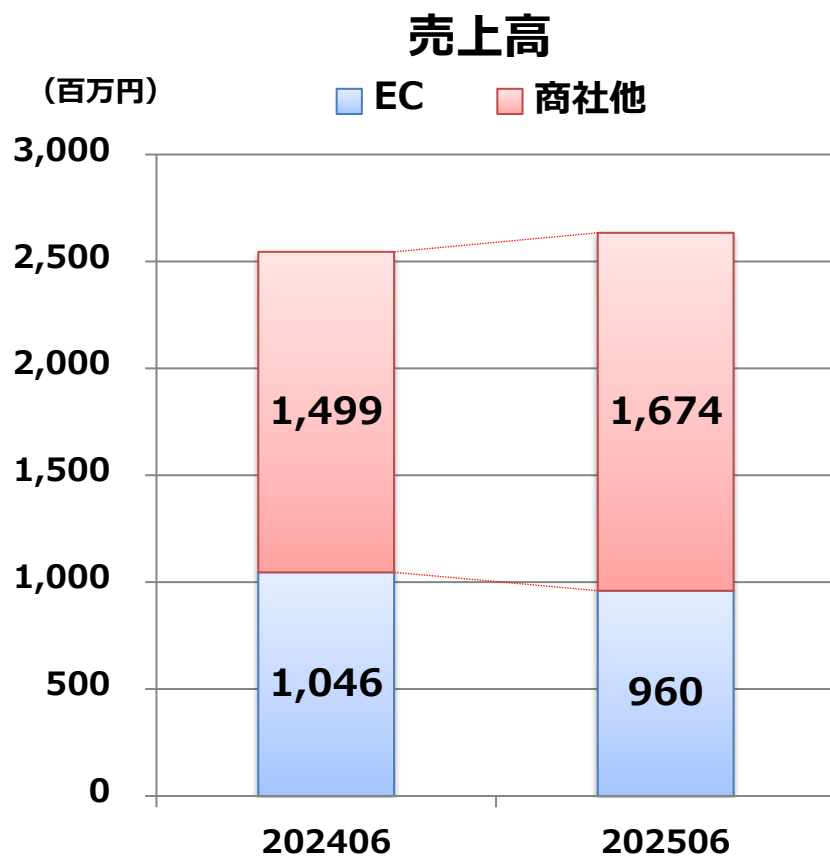
投資・コンサルティング事業：業績概要(1/2)

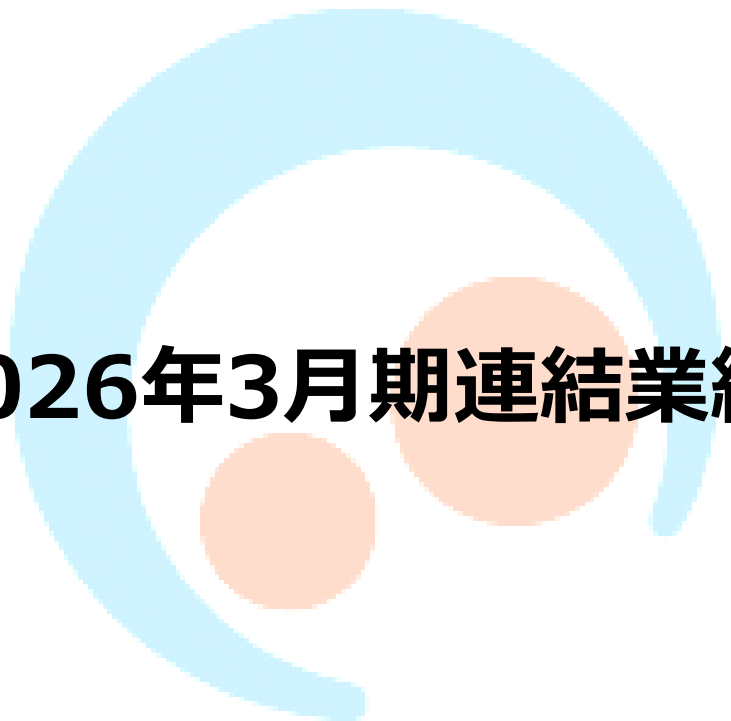
- ・消費マインドの低下によりEコマースによる小売販売は苦戦したものの、商社事業などその他の事業でカバーし、前年同期比で増収増益。
- ・通期計画へ向けて第1四半期は概ね計画通り進捗。



投資・コンサルティング事業：業績概要(2/2)

E C：持続的な物価上昇傾向の中で消費マインドが低下、苦戦し前年同期比で減収減益。
商社他：取引深耕による売上拡大や価格交渉による利益の確保に注力し、前年同期比で増収増益。





IV. 2026年3月期連結業績予想

2026年3月期 連結業績予想

- ・売上高及び営業利益は、創薬支援事業、投資・コンサルティング事業ともに概ね計画通り進捗。

単位：百万円	2026年3月期 (通期予想)	2026年3月期 第1四半期 (実績)	進捗率
			(%)
売上高	13,500	3,197	23.7
創薬支援事業	2,200	564	25.7
投資・コンサルティング事業	11,300	2,634	23.3
本社・連結調整	—	△1	—
営業費用	13,350	3,152	23.6
創薬支援事業	2,290	588	25.7
投資・コンサルティング事業	10,840	2,517	23.2
本社・連結調整	220	46	21.3
営業利益	150	45	30.2
創薬支援事業	△90	△23	—
投資・コンサルティング事業	460	117	25.6
本社・連結調整	△220	△48	—



V. その他

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況

当社は、基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況については「時価総額」が充足していません。このため、東京証券取引所グロース市場における上場維持基準への適合に向け、企業価値の向上により「時価総額の向上」を図ることを基本方針とし、「株価向上」を目指して、各取り組みを進めており、現時点の進捗状況は以下のとおりです。

①業績向上

取組内容	・創薬支援事業の業績向上 ・価格、研究開発の見直しによる採算性向上 ・適正な人員体制への移行 ・新規サービス（中期及び短期発がん性試験）導入
進捗	・連結売上高3,197百万円（前年同期比10.9%増） 連結営業利益45百万円（前年同期比148百万円改善） ・創薬支援事業：前年同期比売上67.0%増、営業損益85百万円改善 ・投資・コンサルティング事業：前年同期比売上3.5%増、営業利益52百万円増加

②株主還元の強化

取組内容	・有配体制整備のための着実な業績向上
進捗	・第2四半期以降も業績を着実に改善し、早期復配を目指します

③IR活動の強化

取組内容	・情報発信の強化：「質」と「量」の両面で強化
進捗	・株主説明会の実施 ・四半期毎の決算説明動画配信実施 ・プレスリリースによる発信：「新規サービス「rasH2 マウスを用いた短期発がん性試験受託開始等」「エクソンヒト化マウス」日本特許成立」「㈱エーセルとの業務提携」「日本クレア（株）及び（公財）実中研とのrasH2 マウスを用いた短期発がん性試験に関する共同研究」

④その他

取組内容	・グロース市場への上場維持基準への適合を目指しつつ、他市場への重複上場を検討
------	--



～人々の健康と豊かな暮らしのために～

<https://transgenic-group.co.jp>